

いのちの海と空と大地



原発のない世界を求めて ニュースレター

発行： 日本聖公会「正義と平和委員会」原発問題プロジェクト

1. SDGs(エス・ディー・ジーズ)って知ってますか

私たち人類は地球という小さな星に住んでいます。そこには、多種多様な生物が、地域の気候や環境条件に適応して生きています。地球が誕生し、生命が生まれ、進化や絶滅の歴史を繰り返し現在に至っていますが、それには 46 億年という途方もない時間の流れがありました。

今から 30 万年前に生まれた人類は、この間に飛躍的な進化を遂げ、文明を発展させ、その科学知識や技術はミクロの世界から果てしない宇宙にまで及び、今や、この宇宙全体の起源の解明にまで迫ろうとしています。

私たち一人ひとりの人間は、高々 100 年の寿命の中に生存する者でしかありませんが、先人の知恵や経験を蓄積し継承してゆくことにより、自分が生存しない過去を知り、未来を予測することが出来るのです。

2015 年 9 月の国連サミットで、193 か国の代表によって「持続可能な開発目標 (SDGs)」が採択されました。「将来世代のニーズを損なうことなく現在の世代ニーズを満たすこと」という 1987 年のノルウェーのブルントラント首相が纏めたレポートを骨子とするものです。17 項目のグローバル目標と、それらを達成するための 169 のターゲットで構成されています。これらは 2030 年を達成目標としています。これは地球と人類が生き残るために、地球を包括的・総合的な視点から考え理解する必要があるとの考え方に基づきます。これまでの、経済成長中心の政策では、環境問題や教育、医療、などの地域格差が拡大するばかりであるとしています。

17 項目は、エコロジー、経済、政治、文化などの広い分野を含んでいて、生物的なシステムがその多様性と生産性を期限なく継続できる能力のバランスを求めるものです。

SDGs 全体をわかりやすく表すロゴマークが用意されています。



繁栄が誰かの犠牲の上に成り立つのではなく、全ての人々にとって持続可能な開発を進めつつ、2030年を目標に、貧困に終止符を打ち、地球環境を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにとの願いが込められています。経済大国や武力の強い国だけが、自国優先の政策を進めるのではなく、地球上の全ての国や民族が共存できるものでなければならないのです。

SDGsの事を詳しく知りたい方は、ネットで簡単に検索出来ます。原発(核)のない世界を求める事、気候温暖化を抑制する事、平和と正義、核兵器の廃絶、水と衛生の確保、教育、貧困と食糧、課題は大きく沢山あります。私たちが地球で平和に住み続けるためにはここで諦めるわけにはいきません。

38年ぶりに来日したフランシスコ教皇様は、4日間の短い来訪でしたが、私たち日本人のみならず、世界の人々に強いメッセージを残されました。それは上記のSDGsの目標にも合致するものです。2030年まであと10年です。この時間を大切に取組んでゆきましょう。

皆さんの周りの人たちと、この17項目のSDGsについて話し合い、自分たちは何が出来るかを考えてみませんか。